

# 競技規則及び方法 (2024 年度版)

\* 1.(1) (2) 【 】内は学童部適用

## 1. 大会特別規則

- (1) 競技場の規格については、塁間距離を25【23】m、投手プレート・本塁間距離を17【16】m、両翼75m・センター85mとする。球場ルールにあわせて、外野仮設ネットを設置する。
- (2) 試合は7回戦【6回戦】とし、試合時間は1時間40分【1時間30分】とする。
  - ・ 同点の場合は、特別延長戦（タイブレーク方式）を適用する。
  - ・ 特別延長戦（タイブレーク方式）は、継続打者で、無死1・2塁として、走者は順次、前の打者とする。（勝敗が決しない場合は、これを繰り返す）
- (3) 試合時間の判定については、当該審判員に一任する。
- (4) コールドゲームは、5回終了時7点差とする。
- (5) 降雨等により試合継続が困難となった場合、5回終了以降は正式試合とする。
- (6) 抗議権を有する者は、監督、当該プレーヤーのうち1名とする。
- (7) 守備側のタイムの回数制限
  - ① 監督またはコーチ等が1試合に投手の所へ行ける回数は3回までとする。(5.10 l (2)は適用しない)  
投手交代の場合、投手と捕手の打ち合わせ(サインの確認)のために、準備投球の前あるいは後に少しだけ会話することは、捕手または内野手の回数に含まない。
  - ② 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回までとする。  
野手（捕手も含む）が投手のところへ行った場合、そこへ監督またはコーチ等が行けば、双方1回として数える。逆の場合も同様とする。  
投手交代の場合は、監督またはコーチのみ回数には含まない。
- (8) 攻撃側のタイムの回数制限
  - ① 攻撃側のタイムは、1試合に3回までとする。  
※なお、(7)・(8)とも延長戦（特別延長戦を含む）となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
- (9) 投手の12秒及び20秒ルールは採用しない
- (10) 監督またはコーチは、コーチスボックスに出ることは禁止する。
- (11) 塁上の走者、あるいはコーチスボックスやベンチから守備側(捕手)のサインを盗み、それを打者に伝達することを禁止する。
- (12) 試合中の言動等は充分注意すること。  
投手が投球動作に入ったならば声を出すことを禁じる
- (13) 本規則に定められていない事項が生じた場合は、審判員協議の上、大会審判長の権限により処理する。

## 2. 危険防止のため次の用具を使用する。

- (1) 打者用ヘルメットは必ず用意し、打者・次打者・走者・ベースコーチは必ず着用する。
- (2) 捕手は捕手用ヘルメットを着用する。捕手用ヘルメットはマスクを分離したものが望ましい。  
また、プロテクター・レガースは必ず着用する。
- (3) 上記の各用具及びバットは、(公財)全日本軟式野球連盟公認の物を使用する。
- (4) 素振り用の鉄棒(鉄パイプを含む)・バットリング・長尺バットは使用してはならない。

## 3. 競技運営に関し、次のことを規定する。

- (1) 試合中のダッグアウト(ベンチ)の中に入れる人員は次の通り、「参加申込書」に記載された監督・コーチ2名・マネージャー・スコアラー・トレーナー各1名と選手10名以上とする。
- (2) 背番号は、監督30番、コーチ29番、28番とし、選手は0番から99番とする。  
なお、メンバー表に記載する際は主将の背番号を○で囲むこと。
- (3) 合同チームで出場する場合、元のチームのユニフォームでの大会参加を認める。
- (4) 監督・コーチが選手として出場する場合は、「参加申込書」の選手欄にも必ず記載する。
- (5) ダッグアウトの中で電子機器類(携帯電話、パソコン等)を使用することは禁止する。  
電子スコア記録用として1台認める。指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
- (6) ダッグアウトは、組合せ表の左側の方を1塁側とする。  
ただし、1チームが2試合続けて行う場合はベンチの入れ替えをしないことがある。
- (7) 試合前のシートロックは5分間とする。ノッカーも必ずユニフォームを着用すること。  
但し、シートロックなしで試合を開始することもある。また、シートロック中のベンチ前等でのノックは禁止とする。
- (8) 球場内でのフリーバッティング練習は認めない。  
グラウンド内での練習は、ランニング・キャッチボール・トスバッティング程度に限る。
- (9) 各部門 第1試合のチームは、開始予定時刻30分前にグラウンド中央までメンバー表を持参し、攻守の決定を主将によって行う。  
第2試合以降は、前の試合終了10分後、グラウンド中央で、攻守の決定を主将によって行う。  
※連続して試合を行わないチームは、事前にメンバー表を審判室まで持参ください。  
メンバー表の用紙は、大会本部で用意した用紙を使用する。(大会本部まで取りに来る)
- (10) 投手は、いずれの手、指または手首に何もつけてはならない。なお、負傷等でテーピング等を使用したい場合は、審判員の承認が必要である。
- (11) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。
- (12) ボールパーソン及びグラウンドキーパーは、対戦チームが担当する。
- (13) 試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (14) 雨天の場合でも、日程の都合上 球場が使用可能な状態の場合は、基本的に試合を行う。